



9月ピッコロだより

【9月の活動】 2学期の目標を発表しよう / 身だしなみ / 公園へ行こう

月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7
2学期の目標を発表しよう	2学期の目標を発表しよう	2学期の目標を発表しよう	2学期の目標を発表しよう	2学期の目標を発表しよう	2学期の目標を発表しよう
9	10	11	12	13	14
身だしなみについて考えよう	身だしなみについて考えよう	秋を感じよう	秋を感じよう	身だしなみについて考えよう	避難訓練 (災害について)
16	17	18	19	20	21
敬老の日	公園へ行こう	身だしなみについて考えよう	公園へ行こう	公園へ行こう	秋を感じよう
23	24	25	26	27	28
振替休日	クッキング (白玉団子)	公園へ行こう	秋を感じよう	避難訓練 (災害について)	身だしなみについて考えよう
30	~中学生の活動~ 9月14日(土) お楽しみ会について話し合おう 9月28日(土) お楽しみ会をしよう				

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本): 6日(金) 18日(水)

言語聴覚士(永山): 2日(月) 3日(火) 12日(木) 13日(金) 20日(金) 24日(火)

理学療法士(樋口): 4日(水) 10日(火) 19日(木) 27日(金)

作業療法士(大平): 5日(木) 11日(水) 13日(金) 17日(火) 21日(土)

今月の主な活動: 2学期の目標を発表しよう / 身だしなみについて / 公園へ行こう/避難訓練

《2学期の目標を発表しよう》適切な姿勢や声量で発表する方法を知り、目標の理由や目標達成のためにがんばること等を相手にわかりやすく伝えます。

《身だしなみについて》身だしなみの大切さを知り、服装、髪型など整容の仕方について考えます。

《公園へ行こう》公園に行き、ルールを守りながら友だちと身体を動かす活動を楽しみます。

《避難訓練》日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるように学びます。

★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・登園時間は、平日16時20分まで、土曜日（午前）10時20分まで、（午後）13時50分までをお願いします。
- ・お迎えは、平日17時20分～18時の間、土曜日（午前）11時50分～12時10分の間、（午後）15時20分～15時40分の間でお願い致します。また、お迎えの際は引き継ぎ20分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。

【キャンセル待ちについて】

- ・キャンセル待ちの受け入れの連絡は、平日は当日の午前中まで、土曜日は前日までにトリアより連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。

【欠席連絡について】

- ・平日は16時以降、土曜日（午前）当日9時30分以降、（午後）13時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代（¥70/日）をご負担頂きますので、ご了承ください。また、当日のキャンセル連絡はコドモンではなく、お電話で連絡下さい。
- ・職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。

※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。



子どもたちの良き理解者になる

もう40年以上前になりますが、私は東京の養護学校（現在は特別支援学校）の中学部教員として赴任しました。当時の教育環境は、現在のような充実した教材や教具等はなく、一人一人の子どもの実態に応じた手づくり教材でした。教材は日々の実践をもとに、子どもたちから学び、保護者から教えていただきながらの製作でした。このような経験により、障害のある子どもとの「人と人の関係」を学び、「心と心が通う受容的交流」の大切さを学んだと思っています。

そのことは、一人一人の子どもたちの近くで寄り添う人たちの、かかわり方が直接的であろうと間接的であろうと、子どもたち一人一人の障害の状態をしっかりと理解し、良き理解者になることでした。子どもたちは、相手が自分のことをよく理解してくれているかどうかを、しっかりと見えています。そして、よき理解者に寄り添われることで、子どもたちは情緒的に安定して、もって生まれた能力をしっかりと表現しながら、今日でいう毎日を幸福 (well-being) に生きることができるのだと思います。

キルケゴールは、「その人が理解していることを、理解することが大切だ」と言っています。子どもたちが、自分の持てる力を十分発揮して安定して日々過ごしていく為には、良き理解者がいる環境が大切です。

子どもたちが安心して生活できるように、支援者から子どもたちの世界に歩み寄って「よき理解者」になり、お互いの信頼関係を築くことが重要です。「できないこと」があっても、「できること」「得意なこと」「好きなこと」に目を向けて能力を伸ばしていこうといった考え方で子どもたちを見守ってほしいと考えている今日この頃です。

教育相談員

馬籠 裕二

